

山 行 報 告 書

山行報告者 : 鈴木

<p>山 域・山 名：下の廊下（剣岳含む 2,999m）（富山県黒部市）</p>	
<p>入山日：平成 28 年 10 月 7-9 日（金-日） 2 泊 3 日</p>	
<p>プラン担当者 正： 鈴木 副：</p>	概略図
<p>参 加 者 L： 鈴木 報：鈴木 記：鈴木 男 1 名、女 名、計 1 名</p>	
<p>天候：10/7 快晴 夕方より強風 10/8 曇りのち雨、午前中強風 10/9 朝豪雨 のち曇り時々晴れ</p>	
<p>月 日 ()</p>	<p>集合時間： 午前・午後 時 集合場所：</p>
<p>10/6 (木)</p>	<p>23：00 新宿発夜行バスにて室堂へ向かう。</p>
<p>10/7 (金)</p>	<p>07：50 室堂着-08：10 山行開始-08：40 雷鳥平 08：40-10：30 新室堂乗越 10：35-11：25 剣沢（テント設営） 12：10-15：10 剣岳（別山尾根往復） 15：15-17：45 剣沢へ戻りテント泊</p>
<p>10/8 (土)</p>	<p>05：00 起床 06：30 発-剣沢雪渓-10：50 真砂沢 11：10-13：40 池平分岐 13：50-16：00 仙人温泉小屋（小屋泊）</p>
<p>10/9 (日)</p>	<p>04：00 起床 06：00 発-09：00 仙人ダム 09：15-11：10 十字峡 11：40-15：15 内蔵助谷出合 15：20-16：50 黒四ダム-トローリーバスで扇沢着 17：25 バスで信濃大町へ、松本駅経由 JR で大宮まで</p>
<p>装 備 と 食 糧</p>	<p>共同装備：テント一式、ストーブ（ガス含）、クッカー 共 同 食：なし 車提供者：なし</p> <p>個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、シュラフ、エアマット、ストック、水、グローブ、スパッツ、医薬品、アイゼン、ヘルメット、スリング類 個 人 食：食事×5 プラス予備食、行動食</p>
<p>感 想</p>	<p>10/7 は快晴のなか眺望もよく素晴らしい登山日和、順調に剣沢に到着（地獄谷は通行禁止）。剣岳は下りに手間取り後半日没を迎えてしまう。カニの横ばいは鎖の位置が変わったのか足掛かりが見え降り易くなっていた。下山時、夕日見るため登頂する人が居り驚いた（下山時真っ暗なはず）。 10/8 は剣沢雪渓（雪はほとんど無し）下降に手間取り難航し有雪時のコースタイムの倍を費やしてしまう。また高巻道も危険路が多く緊張感は剣岳以上であった。10/9 は夜半からの豪雨が朝方まで収まらず、仮設橋流出等による小屋停滞の可能性もあったが、運よく予定の行動がとれた。下の廊下は増水のせいもあり迫力満点、特に今回初めて行った十字峡展望台からの眺望は滑りやすい傾斜の上に立つがゆえの怖さとは裏腹に力強く豪快な景観であった。登山者は圧倒的に黒部ダムから阿曾原へ向かう下りの人が多く、道譲りに時間を要した。室堂周辺はすでに紅葉進行中で赤黄緑の色付いた木々の織り成す斜面は目を見張るものがあったが、下の廊下のそれはまだ気配すらなく、この連休に絡めてしか行けない者にとっては残念である。3日間で行動約30時間と長かったうえザックも重く雨にも降られ、扇沢到着時には疲労困憊、ぼろぼろ状態で帰路のバスに乗り込んだ。</p>